

取扱説明書 / 施工要領書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後もすぐ取出せる場所に大切に保管してください。

【施工業者様へ】

施工後は、お客様に必ず本書をお渡しください。

【お客様へ】

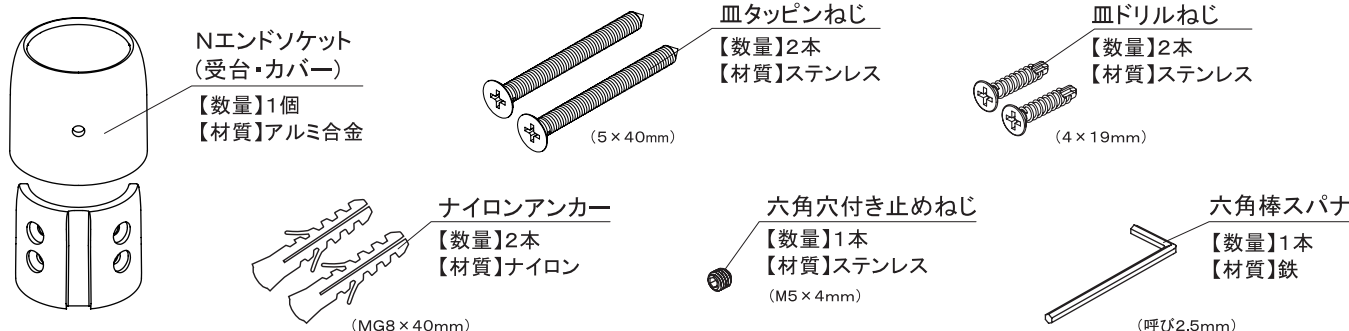
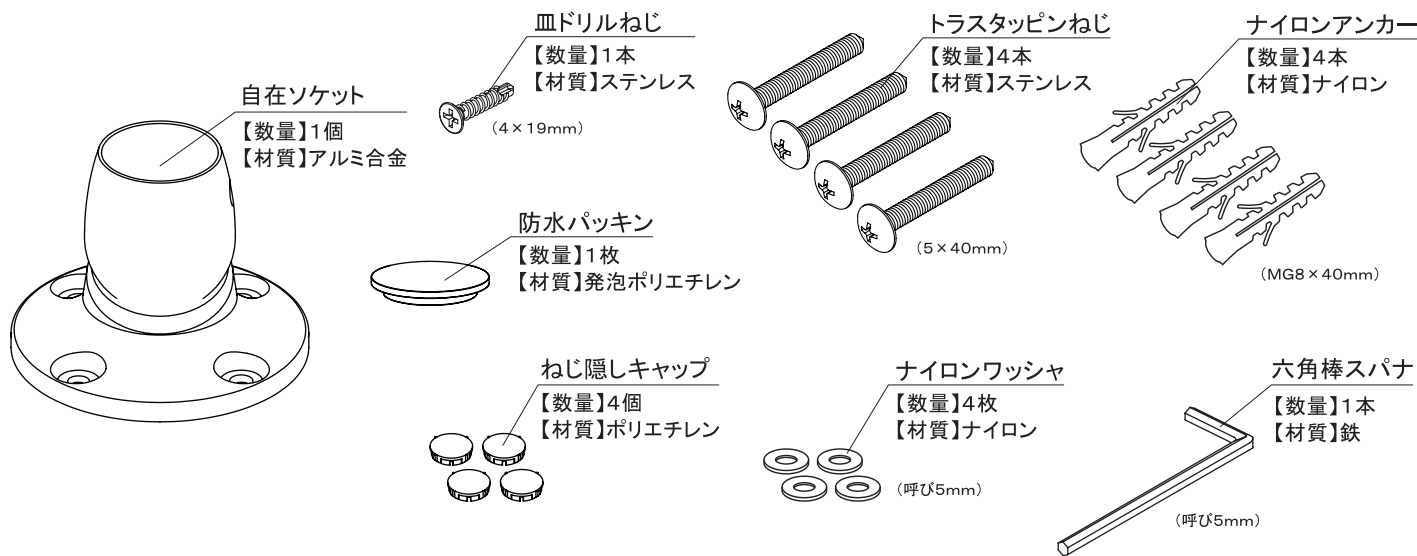
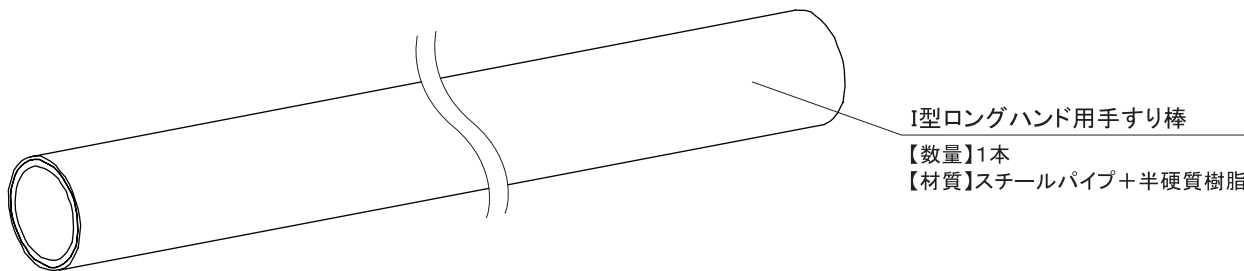
本書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますので
あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの施工要領書をお渡しください。

マークの種類について

- ⚠ 警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容
- ⚠ 注意 軽傷または物的損害が発生する可能性がある内容
- 🚫 禁止行為
- ❗ 必ず行う

Re 本製品のアルミダイキャスト部分には再生アルミ合金を使用し、
地球環境への配慮を行っております。

部品明細



使用上のご注意

❌ 強い衝撃を与えない。

本製品に物をぶつけたり、強い衝撃を与えない。手すりが破損し、思わぬケガの原因になる。



❌ 破損があるものは使わない。

手すり部分にささくれ、大きなへコミ等の破損がみられた場合はすぐに使用を止める。手にケガをする恐れがある。



❌ 製品に乗ったり、ぶら下がらない。

本製品に乗ったりぶら下がらない。ブラケットが破損し、思わぬケガの原因になる。



❌ 火を近づけない。

本製品にタバコなどの火を近づけない。変形、変色の原因になる。



⚠️ 警告

❌ 製品に無理な力を加えない。

本製品を無理に押ししたり、引いたりしない。ブラケットが破損し、思わぬケガの原因になる。



❗ 本製品にささくれ等の破損がみられた場合はすぐに使用を止めて、施工店またはマツタまで相談する。



❌ 製品を分解・改造しない。

固定部のボルト等をゆるめたり、製品を分解・改造したりしない。使用時に脱落したり予期せぬ故障の原因になるばかりか、重大事故につながる場合がある。

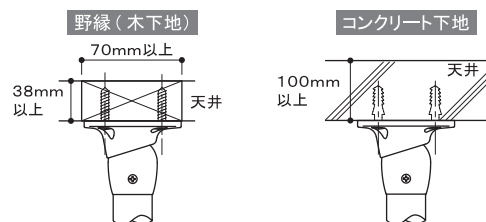


安全上のご注意

❗ 取付け高さは2900mm以内とする。

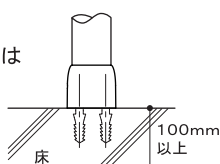


❗ 天井には幅70mm以上・厚さ38mm以上の野縁(木下地)、または厚さ100mm以上のコンクリート下地が必要。



❗ 床には厚さ100mm以上のコンクリート下地が必要。

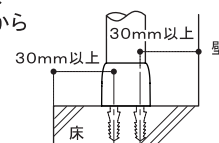
床厚が100mm以上無い場合は取付けできない。充分な強度がでない。



⚠️ 警告

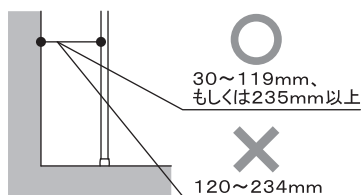
❗ 壁や床端部からのねじ止め位置を必ず守る。

壁や床端部からねじ止め位置は30mm以上離す。壁や床端部からねじを充分に離さない場合、強度がでない場合がある。

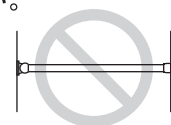


❗ 壁際で設置する場合は手すり棒とのすき間は30mm以上120mm未満、もしくは235mm以上とする。

体がすき間に入り込んで動けなくなる恐れがある。



❌ 横手すり、内窓の墜落防止などの用途で使わない。



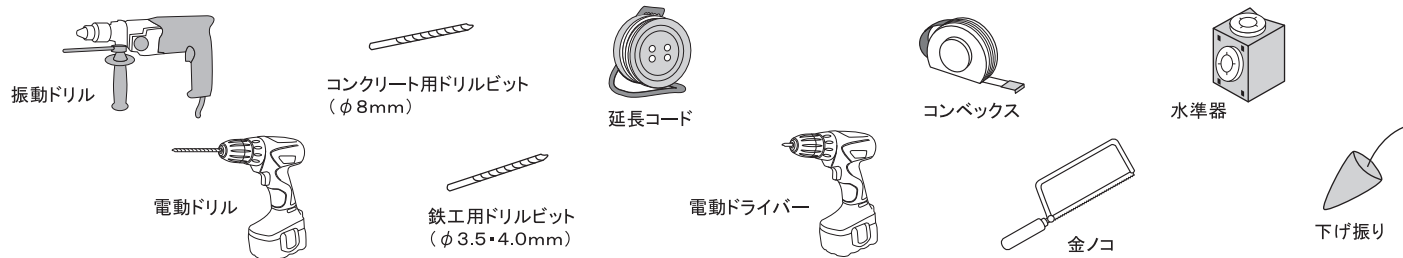
❌ 直棒手すり、直棒手すりデンプル付、曲がる手すり棒は使用しない。

❌ 雨が直接かかり、水たまりができる場所には設置しない。

⚠️ 注意

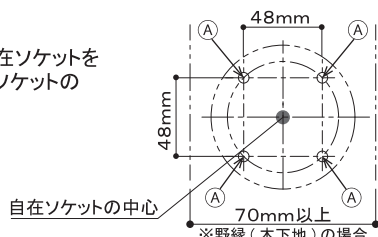
❗ 使用される方の動線を十分に検討して設置する。

施工に必要な道具



施工手順 取付方法

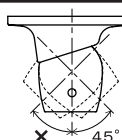
- ① 右図に基づき、天井面に自在ソケットを取付けるための④点と自在ソケットの中心をマーキングする。



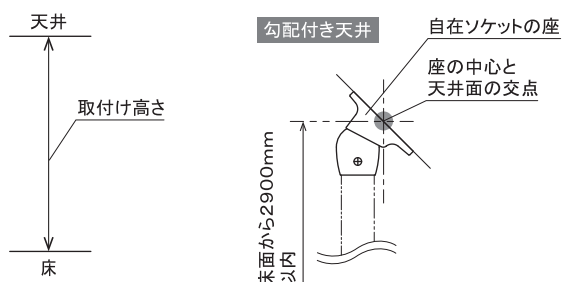
- ⊘ 45°以上の勾配がついた天井や、下地のない天井へは設置しない。

- ❗ 木下地の場合、野縁の幅におさまるよう自在ソケットの取付け位置を決める。

- ❗ 勾配がついた天井の場合、手すり棒が床面と垂直になるよう調整が必要のため、自在ソケットの角度調整が可能な向きに注意してマーキングする。



- ③ 天井面にマーキングした自在ソケットの中心から、床面にマーキングしたNエンドソケットの受台の中心までの距離（取付け高さ）を測定する。



- ❗ 勾配付き天井の場合は、自在ソケットの座の中心と天井面の交点から、床面までの距離を測定する。

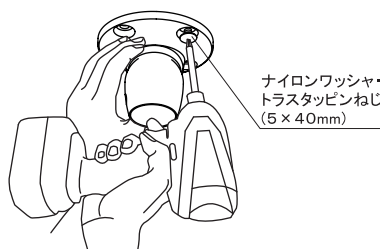
- ⑤ 六角穴付きボルトを本締めして、自在ソケットの首振り角度を固定する。



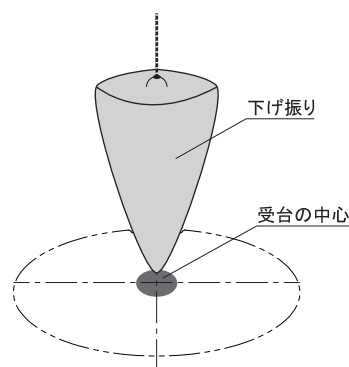
手順⑨で、てこの原理による手すり棒を垂直にする角度調整が可能なため、この段階ではおおよそ垂直が出ていれば本締めして問題なし。

- ❗ 六角穴付きボルトの本締めは、ワッシャが確実に密着するまで締込む。締込み不足の場合、脱落の恐れがある。

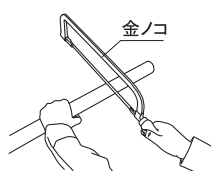
- ⑦ 自在ソケットを穴位置に合わせ、ナイロンワッシャ・トラスタッピンねじで固定した後、ねじ隠しキャップを取付ける。



- ② 下げ振りを自在ソケットの中心から垂らし、Nエンドソケットの受台の中心をマーキングする。



- ④ 取付け高さに応じて、I型ロングハンド用手すり棒（以下、手すり棒）をカットする。

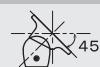


【手すり棒のカット寸法】

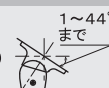
- ① 勾配なし天井
取付け高さ＝45mm



- ② 勾配付き天井（最大45°）
取付け高さ＝34mm



- ③ 勾配付き天井（44°まで）
取付け高さ＝ $(39\cos\theta + 6)\text{mm}$
 θ ＝天井の勾配角度



- ❗ 小口が斜めにならないようにカットし、残ったバリは金属ヤスリ等で必ず処理する。

- ⑥ 天井にマーキングした④点に下穴をあける。下地がコンクリートの場合は、付属のナイロンアンカーを挿入する。（下穴径は下表参照のこと）



【下穴径】

- 木下地：φ4.0mm
- コンクリート下地：φ8.0mm
深さ45mm



- ❗ 下地により下穴径が異なることに注意する。

- ❗ 下穴は天井面と垂直になるようにあける。

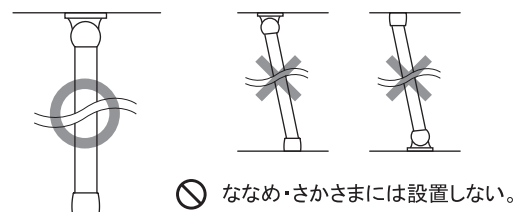


- ⑧ 手すり棒の両側の小口部に錆び止めローパル（別売）を塗布する。天井側の小口部には防水パッキンを貼付ける。

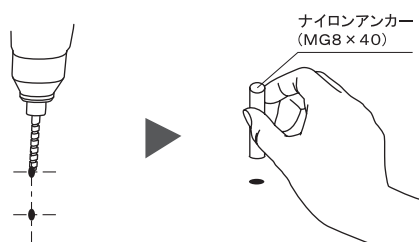


施工手順 取付方法

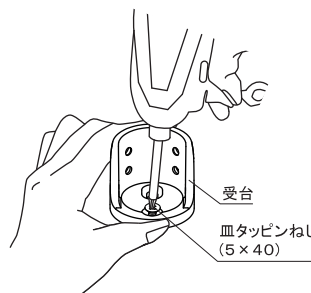
- ⑨ 手すり棒の防水パッキンを貼付けた側を自在ソケットに挿入し、Nエンドソケットの受台を床面と手すり棒のすき間に差込む。水準器で手すり棒が垂直になるよう位置を調整し、Nエンドソケットを取付けるための⑩点をマーキングする。



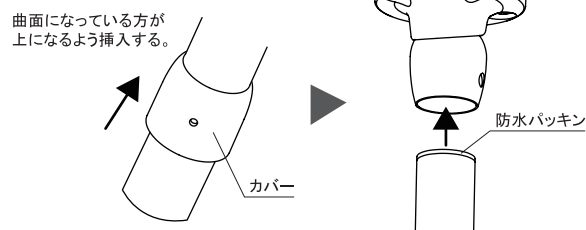
- ⑩ 自在ソケットから一旦手すり棒を抜き、床面にマーキングした⑩点に振動ドリル（下穴径 $\phi 8\text{mm}$ ）で深さ45mmの穴をあける。あけた穴に付属のナイロンアンカー（MG8×40mm）を挿入する。



- ⑪ Nエンドソケットの受台を皿タッピンねじで床面に取付ける。

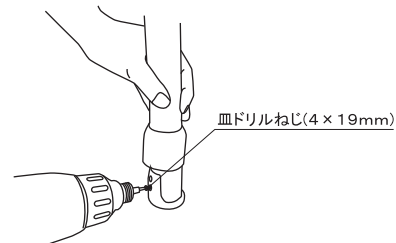


- ⑫ 床面側から手すり棒にNエンドソケットのカバーを通し、再度手すり棒の防水パッキンを貼付けた側を自在ソケットに挿入する。



❗ カバーの向きに注意して挿入すること。

- ⑬ 受台に手すり棒を乗せ、パイプ芯を貫通するところまで下穴（ $\phi 3.5\text{mm}$ ）をあけ、皿ドリルねじで締付ける。

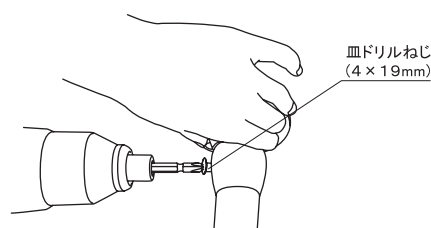


❗ 下穴径に注意する。硬い素材の芯材であるため、直棒手すり、直棒手すりディンプル付、曲がる手すり棒と同じ下穴径（ $\phi 3.3\text{mm}$ ）ではねじの締付けができない。

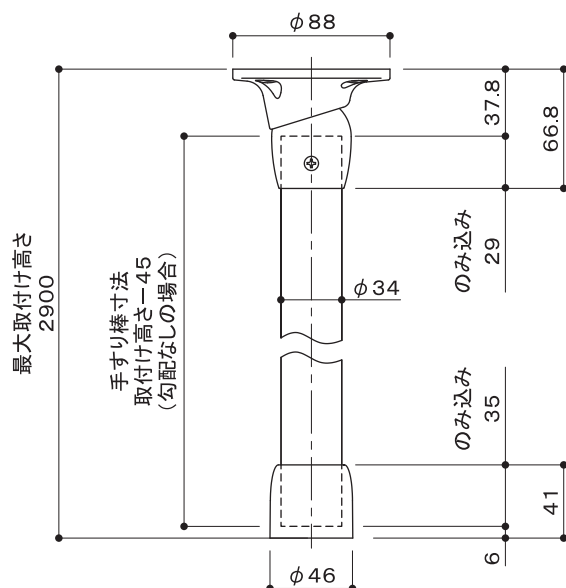
- ⑭ 受台にカバーを被せ、六角穴付き止めねじで固定する。



- ⑮ 手すり棒にパイプ芯を貫通するところまで下穴（ $\phi 3.5\text{mm}$ ）をあけ、皿ドリルねじで締付けて完了。



製品図面



（単位：mm）

マツ六株式会社

〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
TEL: 06-6774-2255 FAX: 06-6774-2248
<https://www.mazroc.co.jp/>

2025年10月1日制定【00】